



ときの新しいはく物館を考え、活用するための

第4号

ときはく

ワーク
ショップ
ニュース



現在土岐市では、土岐の新しい博物館において、市民主体で活動する仲間づくりを進めていくため「新博物館市民ワークショップ」を行っています。過去3回のワークショップでは新博物館での過ごし方や、新博物館の建設地及び周辺を周遊してエリアの魅力について探り、新しい博物館でできる活動について考えてきました。4回目となる今回は、新博物館の基本設計案を確認するとともに、今後の市民活動やなかまづくりについて考えるため、具体的な市民活動について先進事例などの紹介を交えながら意見交換を行いました。第4回ワークショップ当日の様子を「ときはくワークショップニュース」としてまとめましたので是非ご覧ください。

◆当日のワークショップの様子

◆新博物館でできる具体的な市民活動について考えよう



◆ワークショップの主旨、当日のプログラム、全体スケジュール

◆主旨

新しい博物館の「基本設計」が概ねまとめられ、トキハク広場のゾーニングのイメージや新博物館の模型等が披露されました。今回のワークショップでは新博物館で出来る具体的な市民活動について、先進事例などの紹介を交えながら意見交換を行い、「ときはく市民活動シート」の作成を行いました。

◆当日(7/7)のプログラム

- 13:00 あいさつ
- 13:05 ワークショップの目的とスケジュール
- 13:15 新博物館の基本設計について
- 13:25 前回のふりかえり
- 13:35 新博物館でできる具体的な市民活動&博物館ボランティア活動の先進事例について
- 13:50 グループワーク～新博物館でできる具体的な市民活動について考えよう
- 15:10 グループ発表
- 15:30 次回ご案内等(アンケートご記入後に解散)



◆令和6年度スケジュール

- 第1回 【R5/12/10】
「つながり・にぎわいエリア」の活用方法を考えよう！
- 第2回 【R6/2/12】
現地及び周辺を体感しよう！まちとつながってどう使う？
- 第3回 【R6/4/14】
新博物館のゾーニング確認と今後の市民活動、仲間づくりについて！
- 第4回 【R6/7/7】
新博物館で出来る具体的な市民活動プロジェクトについて考えよう！

【今後の予定】

来年の3月に実施予定のおひろめ会に向け、市民が主体的に関わる事ができるような活動メニューや具体的なPRの方法について考えていきます。

済

済

済

済



設計者より新博物館の基本設計が説明されました。



模型やパースが披露されました



学芸員の方より、博物館での市民活動について事例紹介がありました。



TOKIHAKU PROJECT



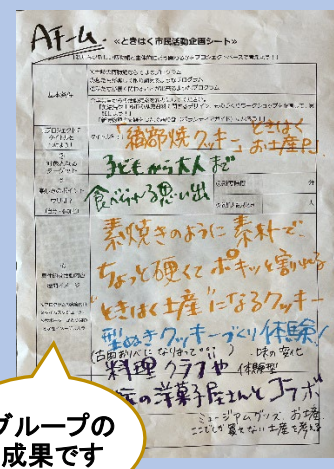
わきあいあいとした雰囲気の中、グループで意見を出し合っています。



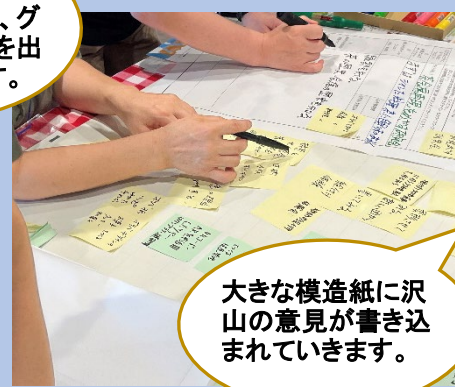
この日は七夕、願ひ事の短冊を飾ります



グループの成果です



大きな模造紙に沢山の意見が書き込まれていきます。



グループ発表も大いに盛り上がりしました！



ひとことアンケート

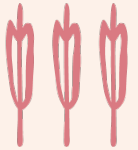
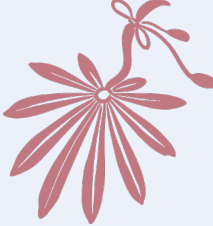
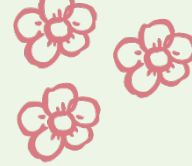
●WS 内容について) 前回より具体的な(リアルな)企画イメージが出てどのように実現されるか楽しみ。やりたいことが何となくイメージとして想像できた。若い方々の発想、造語力に完敗。こうした企画があるとますます土岐が好きになる。今後も土岐が豊かで住みよい街であるように願う。私もより一層励みたいとモチベーションが上がる。様々な年代の方々の発表が聞けてワクワクした。ワークショップを軽く思っていたが、皆さん、一生懸命真面目に対応されていて反省。七夕の夢が本当に叶う気がします。

●トキハクについて) みんなが使い易く絆ができるトキハクになると良い。市民だけでなく土岐市の新たな観光スポットとして注目が集まり、全国に知られる博物館となることを期待。施設及び施設廻りの散策ができる機会があるとよい。皆が集まる場に木育スペース(木のおもちゃ広場)ができると、子連れの家族が気軽に来もらえるのではないかな。織部の茶碗でお茶を飲みたい(志野・黄瀬戸)。古墳めぐりに寄与したい。博物館の模型から建物のイメージもわかった。子どもが学び、大人や他の地域の子どもへ教えるという環境を実現できたらいい、、 などなど、沢山の意見ありがとうございました！！

◆第4回土岐市博物館ワークショップの成果まとめ ～ ときはく市民活動シートの展開資料

基本条件	①土岐の博物館ならではのプログラム ②私たちが楽しく取り組めるようなプログラム ③私たちが長く関わる事が出来るようなプログラム								
学芸員からの活動提案	A：「美濃焼や土岐市の歴史資料に関するデザイン、ものづくりワークショップを企画して、実践しよう！」 B：「新博物館と史跡をつなぐ語り部（ボランティアガイド）になろう！」 C：その他独自の活動提案								

皆さんから出てきた
意見を項目ごとに
整理しました。

活動タイプ	A：デザイン、ものづくりワークショップ タイプ				B：ボランティアガイド タイプ			C：その他、AB ミックス	
提案	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2
①プロジェクト タイトル	「織部焼クッキー/ときはく お土産プロジェクト！」	「ときはく灯（あかり） イベント」	「粘土は土なの？ 木なの？」	「プロの陶芸家 に学芸員さんによる 作陶指導」	「子ども博物館員に なろう!」	「緑と古墳をめぐるみち」	「茶会の再現を目指す 研究会」	「織部ダンス!!」	「あつまれ！ ときっ子、 土（つち）っ子
②対象となる ターゲット	大人から子どもまで	大人から子どもまで	どなたでも （幼児～大人）	プロの陶芸家	子どもと親	大人から子どもまで	まずはしゃれた料理・ 茶に興味のある人	オール年代	ときっこ（小3～4） +親
③楽しみの ウリ	<u>食べられる</u> 思い出	焼物づくりから 展示まで参加	地元陶器の町に親 しみをもち、土と 木を知る	学芸員が教える	キッズニア風に学芸 員さんの職業体験	<u>歴史と健康</u>	織部を <u>食べる</u>	<u>みんなと楽しく</u> <u>元気に</u>	<u>土って楽しい!!</u>
④所用時間	—	—	30 分	60 分	—	—	—	—	—
⑤参加人数	—	—	10 人	5 人	—	—	—	—	—
⑥具体的な 活動内容、 展開イメージ	○素焼きのように素朴で、ちょ っと固くてポキッと割れる “ <u>ときはく名産</u> ” になる クッキー ○型抜きクッキーづくり体験 ○（古田織部になりきって・・・） 味の変化、体験型 ○料理クラブや地元の洋菓子 屋さんとコラボ ○ <u>ミュージアムグッズ</u> 、お土産 ○ <u>ここでしか買えない</u> 土産を 考える	○灯をつくるワーク ショップ ○コンテストと全員 参加型 ○ <u>ナイトミュージアム</u> +灯イベント ※市内の工房にて 体験製作	○粘土を薄くのばし ○葉っぱを押し付 けて焼く ○葉脈が写り、お りべ色の飾り物 ができる	○完璧な <u>古陶器作り</u> 	○プロの道具を使っ て <u>陶器を実測</u> して みよう ○古文書（安土桃山時 代）を謎解き ○学芸員さん風の 恰好、白衣？ 	○知る！ <u>古墳を知る</u> <u>歴史を知る</u> <u>近くの自然を知る</u> <u>道を知る</u> ○歩く、作る、考える 実際に歩いてみる <u>コースを考える</u> <u>コースを増やす</u> <u>みちをつくる</u> <u>マップ、QR コード</u>	○茶の <u>歴史</u> 、懐石の 歴史を知る ○茶会を体験する。 <u>料理を研究する</u> 現代の型も考える ○織部を知る ○ <u>織部の茶会</u> の開催 	○ときはくで ○保育園で ○スポーツ関係で ○高齢関係で ○簡単な動き 	○五感で感じる土！ ○ <u>土クイズ</u> （見た目、 匂い） ○器を自由に形作っ てみる ○ <u>土ソムリエ</u> 証明書 ○（謎解き）利き粘土
⑦役割分担		○企画イベントメン バー（運営） ○当日のアテンダント サポートメンバー	○たたね作りを伝 える人 		○学芸員さんからボ ランティアさんに 道具の使い方など レクチャーしても らう ○ボランティア主体 で体験者に説明す るお手伝い。	○勉強会を開く ○もったいないを知って もらう ○どこで何があってもこれ がある ○化石、海底、環境 ○パレオバロドキシアの 模型づくり	○抹茶と煎茶会。昔の 茶会 ○お茶飲み比べ（茶会に て織部、志野、黄瀬戸） ○茶器ごとのお茶飲み 比べ ○皿柄クイズ オリベ デザイン ○仲間はすれクイズ ○色の理由（緑、黒、白）	○振り付け ○バックミュージ ック 	○土の専門家（粘土 屋さん、作家さん） ○陶磁器試験場 ○市民は盛り上げ サポート ○グッズ ○クイズを考える
⑧気になること		○照明 LED or ろうそく				○お金が必要		○予算	